

初段～三段・級審査を受審する皆様へ

【審査会実施要領（新型コロナウイルス感染症対策）】

●次のことが当てはまる人は審査会に参加できない。

審査会当日、会場入り口前で検温を実施

- ◎体温が37.5度以上ある人や37度以上あり且つ風邪症状のある人
- ◎同居家族や身近な知人に感染者、または感染の疑いのある方がいる人
- ◎過去14日以内に渡航歴のある人にや感染流行地域を訪れた人
- ◎基礎疾患のある人※基礎疾患のある人が理由があつて受審する場合は、主治医の承認を得るものとする。

●審査会に申込む人は、自己責任において当日の審査会に参加するものとする。

●過去に新型コロナウイルス感染歴のある方は、受審について医師と相談して決める。

●保護者等同伴で来場の場合、受審者以外の方は審査会場のある施設には入場できない。基本的に送迎のみとする。特別な理由で入場を認める場合でも、発熱や風邪症状がある方の入場は厳禁とする。（入場者は必ずマスク着用）

●審査会当日の集合時間について、間違いないよう努める。

●4級受審者で面装着がうまくできない場合は付添1名が入場者確認票に記名し装着後ただちに退場していただきます。（中学生3級受審者は認めない。）

審査会当日の注意事項

- 着替えは原則自宅で行うこと。審査会場の更衣室を利用する場合は、密を避け、交代で使用する。
- 審査会に参加する時はマスクを必ず着用すること。
- 受審者確認票を必ず持参すること。忘れるとき会場に入れない。
- 施設内に入場する者は全員必ずマスクを着用し、私語を慎むように心がける。
- 入場する時を含めて、常にフィジカルディスタンス（他の人の距離）を約2m（最低でも1m）確保する。
- 審査前及び審査後に、手洗い、うがい、手指のアルコール消毒を行う。できれば足の裏も除菌用ウェットティッシュで拭く。ごみはビニール袋に入れ密封する。

審査について

※道具の貸し借りは禁止

【形講習・審査】

- 形講習・審査において、受審者は必ずマスクを着用する。
- 自分の木刀を他の人に使わせない。また他の人の木刀を使わない。

※級審査における「木刀による剣道基本技稽古法」は竹刀を使用して行う。

【実技審査】

- シールド装着の面を必ず使用し、面マスクを必ず着用する。
- 面マスクは、必ず鼻を覆うように装着すること。
- 鎧ぜり合いにならないように心がける。もし鎧ぜり合いになったら、お互いにすぐ解消する。

【学科試験】

- 学科試験は課題に対するレポート提出し、レポートはA4サイズの用紙（指定の用紙）で必ず手書きとする。受審者は審査申込みと同時に提出すること。なお、この用紙は愛知県剣道連盟ホームページ内からも印刷できます。